



だいの風

日高市立武藏台小中学校

令和8年1月28日 第17号

今年度のキーワード「対話・創造・挑戦・交流・表現」

学校教育目標

- 自立 かんがえる子・じょうぶな子
- 創造 かんどうする子
- 共生 なかよくする子



「二十歳のつどいに参加して」



校長 秋馬 信之

1月11日（日）日高市文化体育館（ひだかアリーナ）において開催された「二十歳のつどい」に参加させていただきました。かつて、恩師として成人式（令和4年までの名称）に参加した際は、式典中に騒ぐ者がいて情けない思いをしたこともありましたが、二十歳という節目を迎えるにあたり、本会に参加された皆さんの態度が立派で、本市で20年以上教師をしている者として、大変誇らしい気持ちとなりました。今年度の参加人数と参加率は、男性が249名で88.0%、女性が218名で82.6%、計467名でその参加率は85.4%でした。日高市の二十歳のつどいへの参加率は近隣の自治体より高く、教師として嬉しい限りです。

さて、各自治体で二十歳のつどい（成人式）を実施していますが、日本では一人前の大人になったことを社会的に公認するための厳かな儀式として、奈良時代から江戸時代にかけて広く行われた男子の元服（げんぶく）と女子の裳着（もぎ）がこれにあたります。現在は厳かな儀式というよりは、小・中学校時代の友人や恩師と再会し、友人との繋がりを確認するとともに、恩師にその成長ぶりや近況を報告する機会となっています。



日高市では「二十歳のつどい（式典）」が2部構成となっており、1部は日高市文化体育館（ひだかアリーナ）で行われる「厳かな儀式」。そして2部は、実行委員が主催し各公民館で恩師を交えて和やかな雰囲気で行う「手作りの会」となっています。私は高萩北中学校に校長として在籍したときの教え子と（当時中学校1年生）と7年ぶりに再会しました。あどけなかつた子が立派に成長し、また、心配していた子が笑顔で参加している姿を見て、嬉しさと安心感が入り混じり、改めて教師という仕事はやりがいのある職業だなとつくづく思いました。

20歳の節目をお祝いする「二十歳のつどい」。いざれ20歳を迎える台っ子に、心しておいてほしいことがあります。

それは、「二十歳のつどいは『武藏台小中学校の卒業生として誇り』をもって、卒業生全員が誰一人欠けることなく参加してほしい」ということです。

皆さんは現在、本校を卒業したら「かけがえのない母校」となる学び舎で、授業や部活動、そして大運動会や校内音楽会などの学校行事等を通じてたくさんの思い出をつくっています。そしてそこには仲間がいて、皆さんを第一に考え支えてくれる先生方が傍にいます。その仲間と先生方と二十歳のつどいで再会し、友人との繋がりや絆を確認し先生方に自分の成長した姿を見せるることは、とっても意義があり、人として大切なことだと思うのです・・・。

私も20歳になった台っ子の姿を見たいです・・・。

1月9日（金）不審者侵入を想定した避難訓練を実施しました

1月9日（金）飯能警察署・生活安全課の小澤係長にご協力をいただき、「不審者が昇降口から侵入し4階を徘徊している、という想定で避難訓練を行いました。訓練では、不審者侵入の情報が職員室に入ると同時に警察への連絡し、そして侵入者のいる4Fに刺股と催眠スプレーをもって駆けつけ、子どもたちの安全を確保しました。また、子どもたちは担任の指示のもと、教室の入り口にバリケードをつくり、不審者の侵入を防ぎました。

避難訓練は、もしもの時に慌てず、適切な行動を取るために行うものですが、武蔵台小中学校では、もしもの時に備え避難訓練を年3回（火事・地震・不審者侵入）実施し、また教職員は校内研修で、不審者侵入時の対応訓練として講師をお招きして刺股の実地訓練を行っています。今後も私たち教職員は、保護者の方から子どもたちの大切な命をお預かりしていることを肝に銘じて、安心安全な学校づくりに努めてまいります。どうぞ宜しくお願ひします。



1月15日（木）アスリート派遣事業・1月16日（金）JFAサッカー教室開催

本校は、令和7年・8年度の2年間にわたって埼玉県教育委員会から「体力課題研究校」の指定を受け、体育部を中心に体力向上に向けて研究を進めています。今回はその一環として、プロのアスリートの指導を直接受けられる2つの事業を実施しました。

＜アスリート派遣事業：対象学年6、7、8年＞ 【めあて】体力向上と短距離走の技能について学ぼう

子どもたちは①姿勢②足の動かし方③腕の振り方④スタートの姿勢の4つの視点から走る技術について指導を受けました。

＜JFAサッカー教室：対象学年2、3、4年＞ 【めあて】体力向上と短距離走の技能について学ぼう

子どもたちは、様々な動きを体験、体感するとともに、友だちと協力する楽しさを学びました。



1月18日（日）第35回ひだか郷土かるた大会・彩の国21世紀郷土かるた県大会日高予選会

1月18日（日）日高市文化体育館（ひだかアリーナ）において第35回ひだか郷土かるた大会が行われました。このかるた大会は、彩の国21世紀郷土かるた県大会日高予選会を兼ね、参加した各校の児童は県大会を目指し白熱した札の取り合いを行っていました。特に感心したのは、シーンと静まり返った会場の中における、児童の息をのむ集中力と札を瞬発力の速さです。改めてかるたとは、頭と心と体を鍛える競技であると強く感じました。本当に素晴らしいかったです。県大会は3月8日（日）に上尾市で開催されます。日高市児童の代表として精一杯頑張ってください。

＜大会結果＞ 〇県大会出場者

【小学生の部】〇優勝 believe future さん さん さん

〇2位 ブラック ユー さん さん さん

【低学年の部】2位 ブラック ブルーライト さん さん さん

3位 ルギア&ミュウ さん さん さん



カルタ参加者

個人名のため掲載していません

【保護者の皆様】

お忙しい中、学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。皆様からいただいた貴重なご意見を、今後の学校運営や教育活動の改善に生かしていく所存です。今後とも、ご支援・ご協力よろしくお願ひします。なお、アンケート結果の集計・分析、そして改善策については、学校によりやホームページを通じてご報告させていただきます。